



#### ＝全体集会で議論する全国からの参加者＝

9回目を迎えた一組織強化・拡大東西ブロック別経験・交流集会の西ブロック交流会が5月17日～18日、大阪市・「大阪コロナホテル」にて開催された。

107人が参加し意見・交流

国労は、この2年間で組織拡大の大きな流れを作り出す土台を築きあげることを第83回定期全国大会で確認した。結果、幅広い年齢層や幅広い職種で加入・復帰が相次いでいる。本部はこうした流れをより大きく、より確実なものとするため、今日までの成果と教訓・課題を全体化すべく、5月17日～18日の2日間にわたり「第9回組織強化・拡大経験交流集会(西ブロック)」を開催した。集会へは北海道から九州まで107人が結集。地方本部からは八戸運輸分会・小林楓と菊池要悦組織部長が参加した。

組織拡大には継続的・組織的取り組みが必要不可欠であり、分会運動の活性化が求められている。もう一人の仲間を増やすべく、全職場から一人ひとりが奮闘し合おう。

高野執事は、「全国にいる労働組合には、向  
けられた課題が多岐に亘る。一方で、『分  
会活動の活性化をめざす』組織オルグを実施してき  
た」などと述べた。

その後、田中博文中央執行委員長が本部として問題提起を行ったが、その中では「職場活動実態調査を行つてきたが、弱さと改善すべき課題が浮き彫りとなつてゐる。組織拡大に向けた今日までの教訓と課題を共有化し、具体的実践への結び付けを」としていた。

# 農協つぶしも 新自由主義路線

## ＝第1回佐高塾・佐高信氏が訴え＝



## 「安倍政権の実態を訴える佐高氏」

1回講演が5月24日、岩手教員育会館第1会議室で開催された。講師には、評論家で「調和金曜日」の編集委員の塾長「佐高信さん」を講師に迎え、「アベノミクスを斬る! 民自党と農協改革」と題し講演を行った。新幹線の輸送障害により、急きよ日程変更になつたにもかかわらず、塾長自らの講演を聞きに約70人が参加した。

いま、会社研修等を通じて他労組に加入する人が多い「他労組組合員の相談に乗るなどの信頼関係はあるものの、国労加入まではなかなかつかないものもある」といふのが、田中副委員長が「回を重ねてきた経験交流集会」で役員だけの取り組みとなっていたなどの実態や課題が出されていました。一方で、「分会活動の活性化をめざし、組織オルグを実施してきた」「多數派労組には職場改善の取り組みが見えず、国労が職場改善を主張的に担つて他労組との違いを明確にし、継続的・組織的な取り組みをしていく」と集約し、終了した。

|   |
|---|
| 品の提供を受けた。グローバルアーティスト第4人が第3回東日本本部予定大会に出場予定。な |
| 優勝 藤田 勇人 ◇                                  |
| 準優勝 高瀬 貴弘 (青森施設分会)                          |
| 第3位 佐々木睦美 (青森駅連合分会)                         |
| 第4位 牧原 幸三 (仙台自動車支社)                         |
| 第5位 小泉 和則 (盛岡電気分会)                          |
| 第6位 佐々木政和 (一関工務分会)                          |

いの「一方で、支持率が下がらない」のはなぜか」という問いに、「株と支持率は運動し、企業やサラリーマンの関心は高い。サラリーマンの関心は高い。」と答えた。う一つの理由は、野党が機能していないことだ」と答えた。

T P Pに反対している農協に対して、組織力の弱体化を狙っているのは明白である。アメリカの要請を断れない安い倍内閣は、農協改革という名の下で農協を解体し T P P交渉を前進させたい狙いがある。農家や消費者にとって食の安全を守るという観点からも、農協改革を容認するわけにはいかない。

労が少なく年金支給年齢まで働ける制度だと実感していく。過日年金支給の手続きに行つた。(自分は60歳から支給される)年金記録を確認したところ国鉄時代の履歴期間の記録がないことが判明した。年金記録が適正に処理されていない事件が発生し、その後検査されたものと信用していくが、まだまだ不備があるかもしれない。もう一度見直してみると必要があると思う▼振り返つてみるといつも闘いの時は国労という仲間がいた。だから頑張つてくれた。これからも仲間と共に(京)

# 組織拡大ブロック 経験交流集会

**拡大に組織的、継続的取り組みを**

発行所 国鉄労働組合  
盛岡地方本部  
発行者 佐々木 力  
編集者 及川 孝  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス  
[nrumori@poem.ocn.ne.jp](mailto:nrumori@poem.ocn.ne.jp)

2015.6.10  
第1482号

拡大キャッチコピー  
「新しい仲間づくりを  
皆の力で」  
「一緒に解消しませんか、  
あなたの疑問。  
加入まってます!」

組組合員からも信頼を勝ち得  
ている」との成果も報告され

## 藤田勇人さんが優勝

# △青森施設分会▽ △さん△が△優△勝△

当面の主な日程

▽6月13日（盛岡）  
盛岡支部組織拡大対策会議

▽6月20日（青森）  
青森支部組織拡大対策会議

▽6月27日（盛岡）  
盛岡支部側「機関紙交流集

△ 7月28日(青森)  
青森支部側「機関紙交流会」  
△ 7月7日  
雪石町議会議員選挙告示会  
▽ 7月11日(盛岡)  
第2回佐高文化塾

▽7月12日（盛岡）  
第2回地本・支部役員組織  
対策会議  
▽7月12日  
零石町議会議員選挙投開票  
▽7月12・13日（日光）  
第25回東日本本部元気に学  
習会（女性交流会）

5月31日JRを定年退職となつた。  
ていこう  
1974年4月国鉄バス一関営業所に入社して41年と2ヶ月、あつという間のような気がする。私事で申し

# 脱原発・再稼働反対の訴え

「4・9反核燃の日」全国集会 (5.30青森)



＜集会には850人が参加し市内をデモ行進＞

金国集会は、青森県議会議員選挙が4月のために、5月30日に青森県芦北町の青い森公園で開催され、いつもの年よりも暑い中での開催にも関わらず県内及び全国から850人の仲間が参加しました。

集会冒頭、核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団の浅石代表から「安倍首相は、原発はベス電源であり生活・経済に欠かせないと嘯いている。しかも、外國に輸出しようとしている。予想できない地震や災害、戦闘機が墜落しても本当に安全なのか保証もないのに無責任である」と挨拶がありました。

統一して主催者は、藤本事務局長から「全国にある原発は、まだ稼働している。生命と生

活を脅かす原発はいらない。再生可能エネルギーで安心して安

ら私たちに押し付けられるか

（青森運転分会 高橋清光）



…大槌橋梁のあった場所に立ち見上げる参加者…

第30回「4・9反核燃の日」金国集会は、青森県議会議員選挙が4月のために、5月30日に青森県芦北町の青い森公園で開催され、いつもの年よりも暑い中での開催にも関わらず県内及び全国から850人の仲間が参加しました。

集会冒頭、核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団の浅石代表から「安倍首相は、原発はベス電源であり生活・経済に欠かせないと嘯いている。しかも、外國に輸出しようとしている。予想できない地震や災害、戦闘機が墜落しても本当に安全なのか保証もないのに無責任である」と挨拶がありました。

統一して主催者は、藤本事務局長から「全国にある原発は、まだ稼働している。生命と生

活を脅かす原発はいらない。再生可能エネルギーで安心して安

ら私たちに押し付けられるか

復旧への支援はあるものの、経営主体が三陸鉄道に移管となることが決定している。しかし、線路復旧への前途は未だ立っていないのが現状である。

こうした中で盛岡支部は、「被災地巡り」を開催した。今回も鵜住居・大槌地区の現状を視察することとなつた。佐々木研司執行委員長をはじめ、総勢23人が参加。自分は長男を連れて参加したが、夫婦で参加をした組合員もいた。10時過ぎに岩手県交通バスにて北上駅東口を出発。一路、釜石をめざし、自動車道を東

参 加者の自己紹介と感想発表が行われ、16時ころ北上駅東口に到着した。ほとんどが移動という「巡り」であったが、車中の感想では「改めて津波の凄さを目の当たりにした」「支部とし

## 23人が鵜住居・大槌地区を視察

2011年3月11日の「東日本大震災」から4年が経過した。被災した山田線(宮古・釜石間)はJR東日本による

沿線の一因ともなるので、遠くから慌ただしく見るだけの「駆け足」で終了。その後、大槌駅跡地近辺を視察。鉄橋があつた痕跡を見て、改めて津波の破壊力の凄まじさを感じ取ることとなつた。トイレ休憩を兼ねて予定になかつた仮設商店街で休憩と買い物し、

釜石駅前の「魚業センター」にて買い物。帰りの車内では参加者の自己紹介と感想発表が行われ、16時ころ北上駅東口に到着した。ほとんどが移動という「巡り」であったが、車中の感想では「改めて津波の凄さを目の当たりにした」「支部とし

## 戦争法案を廃案にしよう

右手県民総決起集会



◇不戦を誓い平和を訴えるデモ行進◇

戦争をさせない！岩手県委員会・社会民主党岩手県連合・平和環境岩手県センターの3団体が主催する、「不戦を誓い平和な社会を築く！県民総決起集会」が5月16日、盛岡市の岩手教育会館で開催

され、市民・労働組合から約300人が参加した。（国労からは15人が参加）

平和環境岩手県センターの野中靖志事務局長が「安倍首相は、『安全保障関連法案を今夏までに成立させる』など

国会を軽視した発言をアメリ

カ議会で明言し、昨日（15

日）「戦争法案」を衆議院に提出した。二度と子供たちを

戦場に送ってはならない」と

開会の挨拶を行った。

戦争をさせない！岩手県委員会・代表呼びかけ人の石橋乙秀弁護士は「安倍首相は『平和』という言葉を安易に

開会の挨拶を行った。

戦争をさせない！岩手県委員会・代表呼びかけ人の石橋乙秀弁護士は「安倍首相は『平和』という言葉を安易に